

南町民センター指定管理者クリーン・ローズの評価 【評価委員総括表】

目的	一般住民の学習、保育、休養及び集会の用に供するために設置された本施設を、地域住民で構成され社会奉仕活動を行う団体たる指定管理者が、その能力を活用しつつ、地域住民等に対する住民サービスの効果及び効率を向上させ、もって地域コミュニティや福祉の一層の増進を図ること
----	---

評価対象期間：令和元年4月1日～令和元年9月30日

評価項目		評価視点	評価区分
1	施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な施設内外の清掃など利用者が気持ち良く使用できる環境を維持しているか ・定期的な巡回などで、危険箇所や異常を発見した際に、修繕や町への報告が速やかにされているか 	良
2	利用者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の利用にあたり不公平が生じていないか ・利用日・利用時間の遵守が徹底されているか 	可
3	施設運営の経費削減	<ul style="list-style-type: none"> ・不用な電気・水道・電話などの使用を慎み経費削減に努めているか ・効率的な人員配置を行っているか 	良
4	情報の管理・保護	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理によって知り得た秘密や情報を外部に漏らしたり、他の目的に使用していないか ・個人情報に関する書類等の保管・保護が適切になされているか 	良
5	災害時、緊急時に備えた危機管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・開館時に警報が発令された場合、町と連携をとり適切な体制や処置がとれているか ・防災訓練を実施するなど、有事に備えた体制がとれているか ・館内で急病者が出た場合、適切な体制や対応がとれているか 	良
6	地域の各種団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の各種団体との連携により利用の増加を図っているか 	良

【所管課の総合評価】

令和元年度は、消費税の増税による経費の増大や自動販売機の撤去に伴う収益の減少など、厳しい運営環境の下で、利用者の利便性を損なうことのないよう努力していると認められる。設備等の老朽化や大型の台風の接近などがあつた中で、施設の維持管理をするうえで必要な日常的な施設内外の点検業務や清掃業務を実施するほか、利用者が快適に施設を利用できるよう、環境整備や安全確保に努めている。

また、会員のすべてが女性ということもあり、利用者への対応も柔らかい。本年度は夏季の異常な暑さの影響もあり、電気代が昨年度の同時期と比べ増加しているが、その増加率は他の施設と比較しても小さく、節約意識が高いため施設運営の経費削減に効果をあげているといえる。

社会奉仕団体の特性を活かし、地域のコミュニティ活動の場を設け、地域の絆を強めることに貢献している。このようなことから、施設管理の責務が十分に果たされていると認められる。

【委員会の意見】

令和元年11月14日開催 令和元年度第2回岐南町指定管理者評価委員会での総評

○前年度引き続き自主事業に力を入れ、地域の人たちのコミュニティーセンターとしての役割を果たしている。利用者の気持ちを考え、日常的に施設内外の点検や清掃の徹底を行っていることで利用者の安全を確保するだけでなく、自然災害時の避難場所にも利用されることを考えて、日々努力されていることが評価できる。

○「認知症の方」を抱えたご家族が気楽に相談できる場所として事業を実施してきただけでなく、新規に事業を企画していることも評価できる。